Hewlett Packard Enterprise

ソリューションガイド

# HPE PROLIANTおよびHPE SYNERGYシステム

変革の原動力となるコンピュート

今すぐ始める >

Check if the document is available in the language of your choice.

# 目次


1 デジタルトランスフォーメーションは加速しており、規模も拡大している

2 DXは達成が難しい目標

3 新たな業務要件によって新しいコンピュートソリューションが求められている

4 DXの次の波を生み出すHPE

5 HPEはビジネスの発展をサポートする信頼できるパートナー

1

# デジタルトランスフォーメーションは加速しており、規模も拡大している

今日では、多くの組織が新たなビジネス戦略を支持してエッジからハイブリッドクラウドまでのIT環境を進化させつつあり、企業はデジタルトランスフォーメーション（DX）によってアジリティ、運用効率、およびイノベーションの可能性を高めたいと考えています。

では、DXとは何を意味するのでしょうか。手短に言うと、DXはビジネスのあらゆる領域にデジタルテクノロジーを組み込んで、事業運営の方法と顧客への価値提供の方法を根本から変えることです。DXを完了したビジネスでは、アプリケーションとデータがあらゆる場所に存在しており、場所を問わずスピードの向上が可能になり、イノベーションと製品の開発が促進されて品質が向上します。

IDC社の概算によると、DXの経済価値は（全世界のGDPの20%に相当）約19兆ドルになると見られており[1]、最近Forbes社が実施した経営幹部の調査[2]では、次のようなことが明らかになりました。

**74%**
次世代の運用モデルをサポートするために運用の最新化とデジタル化を進める計画である。

**70%**
まったく新たなデジタルビジネスモデルと収益源を創出する計画である。

**66%**
自動化を活用するとともにAIの利用を拡大することにより、新たなワークフォースモデルを拡張する計画である。

**73%**
シームレスなデジタルカスタマー・エクスペリエンスを実現する計画である。

**75%**
リモートワークへの完全な移行を目指している。

[1]『全世界のデジタルトランスフォーメーション戦略 - AN IDC SPECIAL INTELLIGENCE SERVICE』、IDC社、2019年8月。

[2]『2019年と2020年のデジタルトランスフォーメーションの統計』、Forbes社

# DXは達成が難しい目標

2

以下に示すように、DXの成功を阻む障害は数え切れないほどあります。

- 人間、テクノロジー、データ面での逆風への対応
- エッジからハイブリッドクラウドまでのさまざまなデバイスから生成される膨大なデータの管理
- 従来とクラウドネイティブ両方のITを含むハイブリッド環境の構築
- サービスデリバリの迅速化
- IT運用の簡素化
- あらゆるタイプのワークロードをサポートする、非常にセキュアで効率的な環境の構築

人的要素に関しては、企業内でDXに対する理解やDXのビジョンが欠如していたり、企業より顧客に価値が置かれていなかったり、サイロ間での連携ができなかったり、リスクを嫌う文化が築かれていたり、変革の実現に必要な人材やスキルが不足していたりといった潜在的な課題があります。

さらに、取り返しがつかないほど職場環境を一変させた世界的な健康上の懸念が組織の進歩を難しくしており、今日では、すべてのCEOがセキュアで流動的なリモートワークを実現する必要に迫られています。またリモートで行えない作業がある場合、リーダーには作業者の能力を確実に引き出せる作業環境を構築する新たな手段も必要であり、従業員はリーダーがそうした環境を構築してくれることを期待していますが、そのためには、職場での健康と安全に関連する優れたインテリジェンスと制御が欠かせません。

テクノロジーの観点から見ると、DXの逆風となるものとしては、フレキシブルITへのアクセスが制限されているために迅速に実験を行えないこと、サイバーセキュリティの能力が高くないために新たなデジタルワークロードを拡張できないこと、柔軟性の低いレガシーITシステムやレガシーITソフトウェアの負担などが挙げられます。[3] また、レガシーシステムはコアだけでなく、2025年までに最大75%のエンタープライズデータが生成されるようになると予想される、エッジサイトでの大幅なデータ増に対応しなければなりません[4]。

こうした人間、テクノロジー、データ要素面での逆風が組み合わさることで、コンピューティングに対する顧客の新たな要求が生じています。

[3]『デジタルトランスフォーメーションが失敗する2つの大きな理由』、HBR、2019年。

[4]『グローバルマーケットインサイトレポート』、Gartner社、2019年。

3

# 新たな業務要件によって新しいコンピュートソリューションが求められている

（VDI、ハイブリッドクラウド、AI/分析、HPCなどの）新しいおよび/または最新化されたアプリケーションとワークロードにはそれぞれ、実行するジョブのレイテンシ、規模、パフォーマンス、および経済性に基づくさまざまな要件があり、ワークロードのバランスを正しく取れば、効率と競争力が大幅に向上します。その一方で、インフラストラクチャが不十分でワークロードの要件に適切に対応できなければ、非効率的なサイロが生まれたり、管理が複雑化したり、サーバー容量を確保するためのコストが増加したりします。

今日の組織が生き残るには、ビジネスが変化するスピードに合わせてデータを有益な情報とイノベーションへと変えるうえで欠かせないレイテンシ、柔軟性、パフォーマンスを実現するために、他とは異なるワークロードに最適化されたテクノロジーが必要です。

今日の企業には、以下を可能にする革新的なコンピュートが必要です。

- **あらゆるタイプのアプリケーションとワークロードの要件に対応する。**
- **テクノロジーの最適な組み合わせを実現して、あらゆるタイプのワークロードをサポートする。**
- **あらゆるレベルでセキュリティを強化する。**
- **IT運用とインフラストラクチャ管理を自動化および簡素化する。**
- **効率を大幅に向上させるIT環境を構築する。**
- **コアとエッジサイトでの大幅なデータ増に対応する。**

# DXの次の波を生み出すHPE

HPEは、先頭を切って今日のデジタルエンタープライズをサポートする革新的なコンピュート機能を提供しています。

DXの次の波を生み出すため、HPEは次のような特徴を持つ新しい種類のコンピューティングを提供しています。

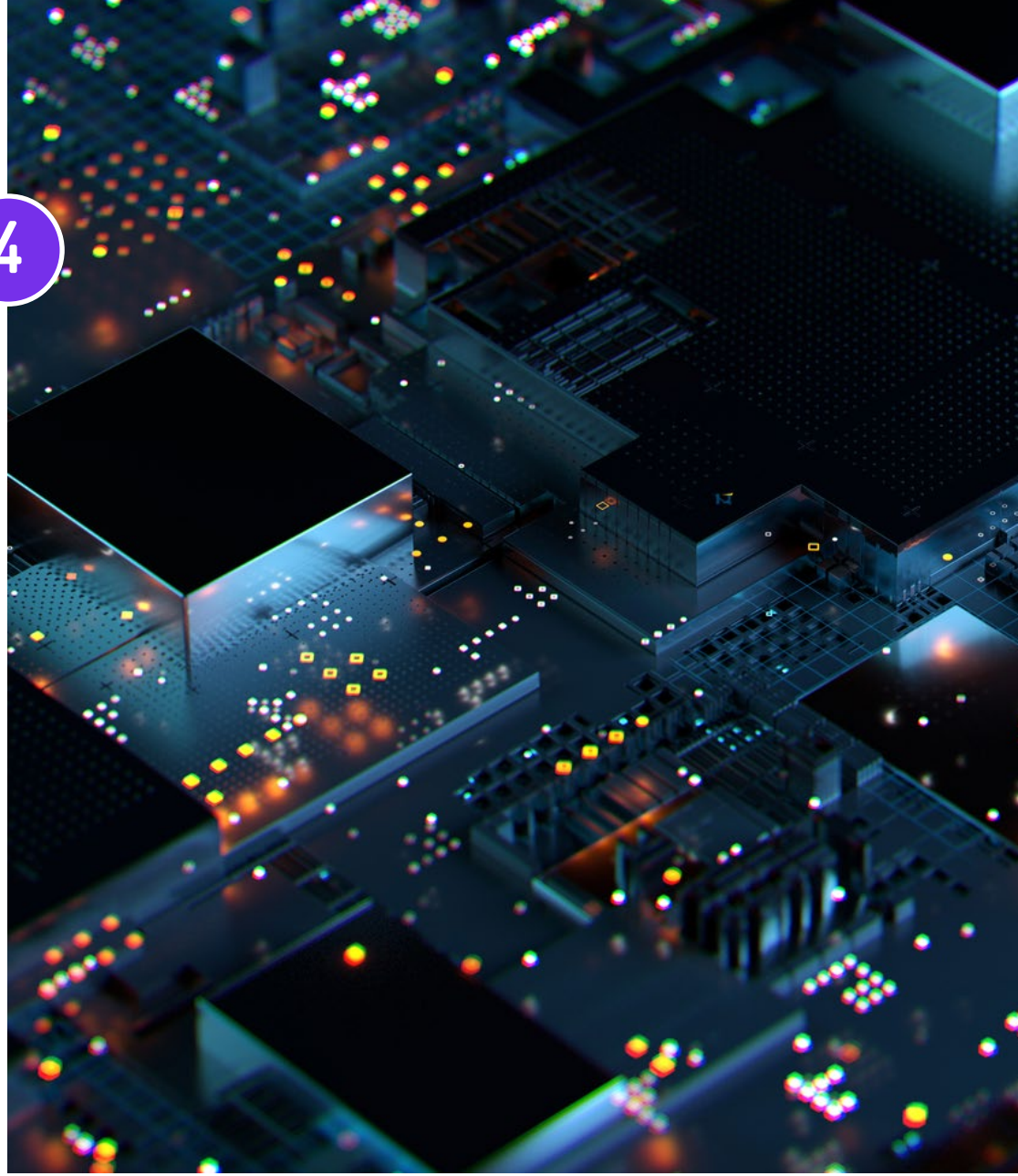
**卓越したワークロードの最適化**

**全方位的なセキュリティ**

**インテリジェントな自動化**

**すべてがas a serviceで提供される**

各ボックスをクリックして関連するトピックをご覧ください

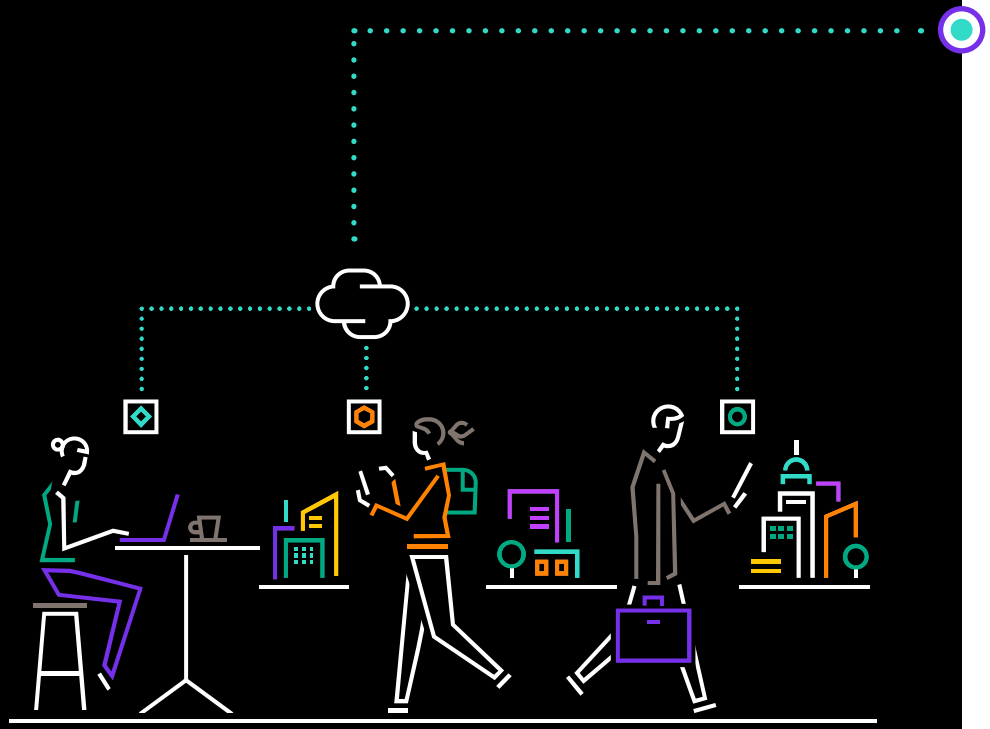


DXの次の波に乗るにあたり、HPEは、各種のシステムとソリューションをベースとする、新しい種類のコンピューティングを生み出しました。このコンピューティングは、非常にクリティカルなワークロードに最適化されており、安全に設計されて提供されるだけでなく、自動化によって簡素化されているうえ、as a s erviceの優れた経済性とユーザーエクスペリエンスを兼ね備えています。

HPEは、数十年にわたるエンジニアリングの経験と専門知識を取り入れて、すべてがワークロードに最適化された、新しいコンピュートソリューションとコンピュート機能のポートフォリオを実現しました。こうした製品の専門知識は、変革とITリフレッシュに関するすべての目標のプランニング、実現、およびサポートを支援できるHPE Pointnext Servicesによって、さらに高められます。またHPE GreenLakeを利用すれば、真のas a serviceのエクスペリエンスを実現するワークロードに最適化された機能が提供されるうえ、幅広い消費モデルを提供するHPEファイナンシャルサービスによってさらなる価値が得られます。

HPEと連携すれば、以下のすべてが提供されます。

**サーバー** | **ソフトウェア** | **ソリューション** | **HPE Pointnext Services** | **HPE GreenLake** | **HPEファイナンシャルサービス**



# 卓越したワークロードの最適化

HPEのコンピュートの基盤となるインテリジェンスは、ワークロードのパフォーマンス、配置、および効率を最適化してより迅速にさらなる成果を実現する、有益な情報によってITを変革します。

非常に要求の厳しいワークロードに対応できるHPEは、40年を超える経験を活かしてワークロードに最適化されたベストインクラスの機能を企業に提供しています。さらに、HPEのエキスパートチームと主要なソフトウェアパートナーは、AIやハイブリッドクラウドなど、HPEのお客様が投資している数多くの重要なワークロードの構築と妥当性確認に力を注いでいます。

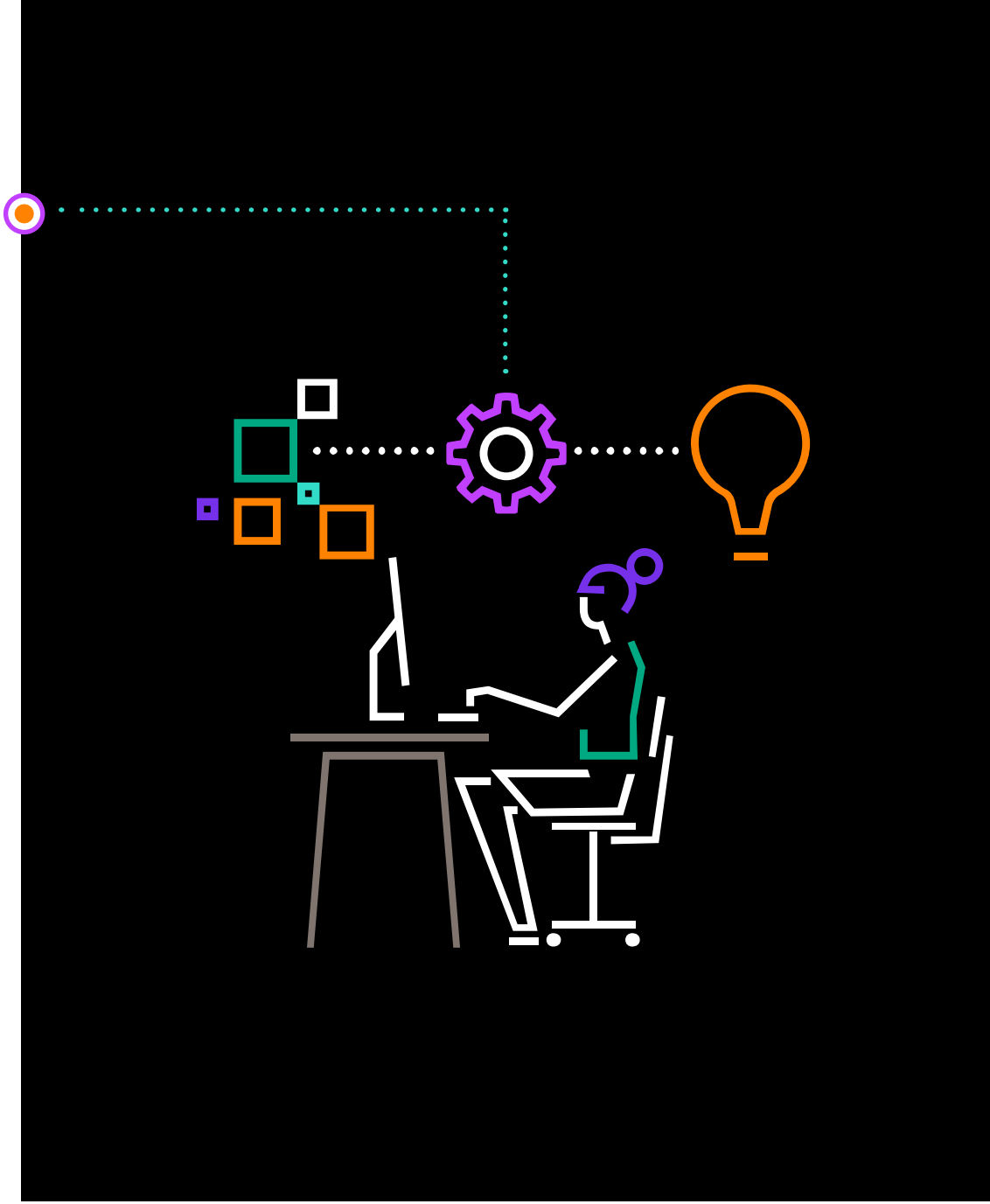
HPE GreenLakeは、as a serviceの15のカテゴリでワークロードを重視したクラウドサービスを展開しており、さまざまなサービスタイプにわたる数千の組み合わせのコンポーネントを提供しています。さらにHPEは、ハードウェアからソフトウェアの展開、妥当性確認、テストにいたるまでをカバーする、こうしたワークロードに最適化された完全なソリューションのすべてを単一のソースから提供しています。

HPEのワークロードに最適化されたソリューションは、セットアップと管理の不確実性を排除することで、チームがイノベーションに注力できるようにします。

またこれらのソリューションは、可用性の高い環境と常時稼働のインフラストラクチャも実現します。HPEのワークロードソリューションでは時間とコストが抑えられるため、一般的なDIYプロジェクトのように試行錯誤を繰り返す場合と比較して、これらのソリューションを活用するお客様は高いコスト効果を実現できます。

HPEのワークロードに最適化されたソリューションを導入した組織は、以下によって問題を解決するまでの時間を短縮できます。

- 約5時間（HPEのツールを活用して5倍の速度）でソリューションを構築[5]
- 展開からライフサイクル管理までの約200の手順を自動化し、わずかクリック数回の操作にまで削減[5]
- 柔軟、効率的、かつコンポーザブルなクラウドインフラストラクチャを使用して、従来のように6～8時間ではなく、約2分でタスクを完了[6]
- わずか30分でクラウドサービスに移行[7]
- Citrixにログインした場合と比較して、VDIのエンドユーザーエクスペリエンスを10倍高速化[8]
- SAP®ソリューションを最大400%の速度で実行[9]



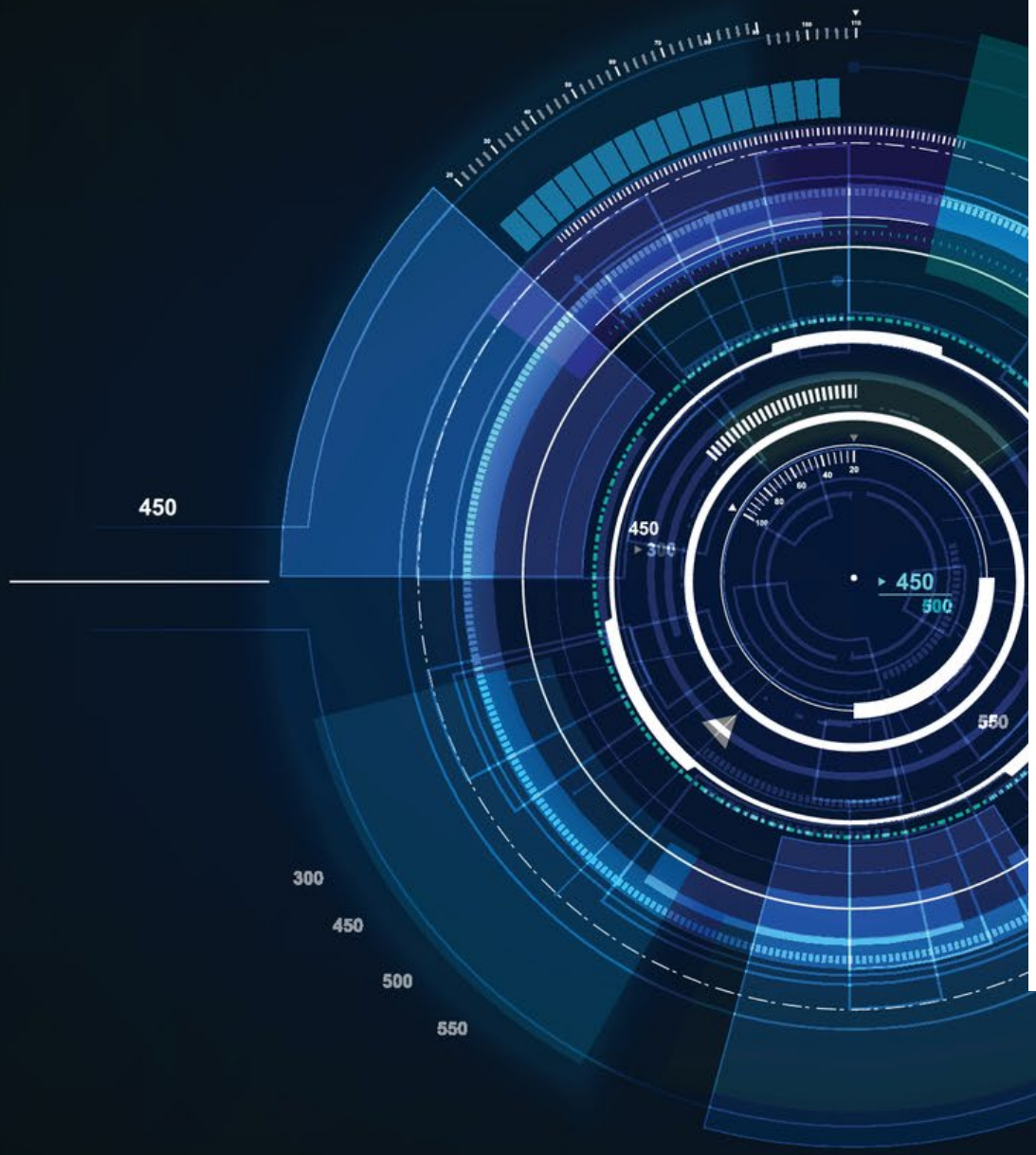
[5] HPE Synergyプラットフォームに基づく。

[6] 『Sigorta Bilgi Ve Gözetim Merkeziがデータデリバリを80%高速化』、HPEのお客様事例、2020年8月。

[7] 『ICTへの大規模移行の準備を進めるベルリン市』、HPEのお客様事例、2019年。

[8] 『コンポーザブルインフラストラクチャプラット フォームが医療機関であるElbe ClinicsのITを自動化』、HPEのお客様事例、2020年2月。

[9] 『Holy Fashion Groupがコンポーザブルインフラストラクチャでアジリティを向上』、HPEのお客様事例、2019年10月。




# 全方位的なセキュリティ

HPEサーバーは、製造のサプライチェーンからサポート終了時の安全な撤去にいたるまで、高度で全方位的なセキュリティ管理を実現します。

HPEは、サイバー攻撃に対する防御の最前線の役割を果たす妥協のないサプライチェーンにより、インフラストラクチャが届く前にセキュリティを確保するため、HPEのサーバーポートフォリオを活用すれば、お客様が必要とする、お客様に適した全方位的なセキュリティを実現できます。さらに、自動化されたセキュリティが、セキュリティ侵害を受けたサーバーを早い段階で検出して自動的にリカバリすることにより、400万を超えるファームウェアをマルウェアやランサムウェアから守ります。

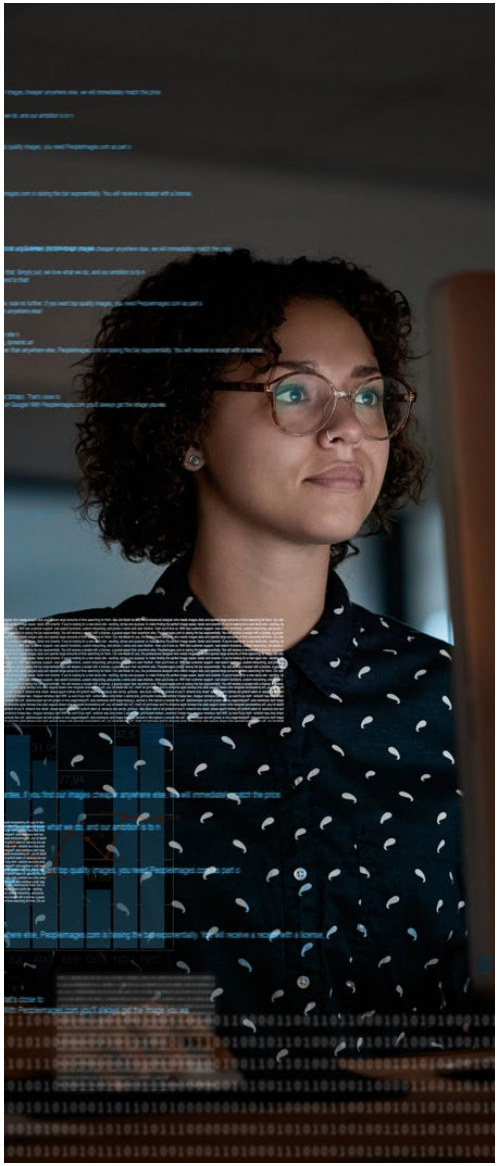
HPEのSilicon Root of Trust（シリコンレベルの信頼性）は、起動する前からシステムのセキュリティが確保されるよう、サーバーを構築する前にHPE独自のデジタルフィンガープリントにHPEのサーバーファームウェアを組み込みます。改ざんされたファームウェアが見つかると通知と自動リカバリが行われ、サーバーが侵害されると、サーバーシステムが自動的にリストアを行ってサーバーをオフラインにし、妥当性確認済みのファームウェアのリカバリとリストアを実行します。また、サーバーシステムはオペレーティングシステム、アプリケーション、およびデータ接続のリカバリも円滑化します。

さらに一歩先を行くHPEの新しいゼロトラストアーキテクチャーは、プラットフォーム証明書によってサーバーアーキテクチャー全体にSilicon Root of Trustを拡張します。業界で高い評価を得ているこれらの暗号化証明書は、サーバーの構成内容に関するデジタル署名済みのステートメントで構成済みのサーバーの身元を保証します。

また、HPEサーバーを再目的化するときには、セキュア消去を使用することで、パスワード、構成設定、データを迅速かつ簡単に完全に削除できるため、以前保護されていた情報への不用意なアクセスを防ぐことができます。One-buttonセキュア消去は、NISTレベルの暗号消去機能であり、単一のコマンドによって不正目的でデータをリカバリできないようにします。

HPEの全方位的なセキュリティは、次のようなメリットをもたらします。

- 信頼できるエンドツーエンドのサプライチェーン
- HPE Silicon Root of Trustによる自動化されたセキュリティ
- ゼロトラストアーキテクチャー
- インフラストラクチャのセキュアな再目的化または廃棄



# インテリジェントな自動化

HPEの中核的なコンピュート製品に組み込まれたインテリジェンスは、オープンなハイブリッドクラウドプラットフォームの強固な基盤となり、管理タスクを簡素化および自動化します。

HPEのワークロードに最適化されたシステムなら、インフラストラクチャを簡単に、より短時間でセキュアに展開できます。これらのシステムにより、ビジネスで求められるスピード、柔軟性、および優れた経済性で、プライベート/ハイブリッドクラウドをあらゆる場所に展開できるようになります。

- ビジネスのスピードでシームレスに拡張できる。
- 展開を5倍高速化できる - 展開からライフサイクル管理までの200以上の手順を自動化し、わずかクリック数回の操作にまで削減。

HPEのインフラストラクチャはソフトウェアで定義されるため、設計の段階で将来性が考慮されています。また非常にセキュアなだけでなく、拡張を念頭に置いた設計となっており、拡張のテストも行われています。インテリジェントなHPEシステムなら、日々のタスクを自動化して数少ないITスタッフをより戦略的なプロジェクトに注力させることができ、次のようなメリットが得られます。

- ITスタッフの効率が**41%**向上する
- ユーザーの生産性が**3.8%**向上する
- よりアジャイルなインフラストラクチャにより、顧客のニーズに素早く対応できる

自動化とソフトウェア定義の制御によって展開に必要な時間が数週間からわずか数日にまで短縮され、スタッフがサーバーを1台展開するのに必要な時間が57%削減されます。HPEの開発者向けのインフラストラクチャに組み込まれた自動化機能を使用すれば、以下によってビジネスを加速させることができます。

**インフラストラクチャを簡単に、より短時間でセキュアに展開する**

- あらゆる場所にプライベート/ハイブリッドクラウドを展開できます。

**日々のタスクを自動化する**

- スタッフの効率が41%向上します。[10]
- ユーザーの生産性が3.8%向上します。[11]

**展開の時間を数週間から数日にまで短縮する**

- スタッフがサーバーを1台展開するのに必要な時間が57%短縮されます。[11]

**開発者向けのインフラストラクチャでビジネスを加速させる**

- アプリケーション開発を改善してコスト削減効果と業績を向上させると同時にリスクを軽減し、5年間で284%のROIを実現できます。[11]

[10] 『HPE SynergyによるITのアジリティとパフォーマンスの向上がもたらすビジネス価値の数値化』、IDC社、2021年2月。

[11] 2019年9月に外部のセキュリティ企業が実施した、HPE Gen10サーバーと競合企業大手3社のサーバーを対象としたサイバーセキュリティ侵入テストの結果に基づく。

HPEのワークロードに最適化されたシステムには、3つの主要な自動化ソリューションが含まれています。

**HPE Integrated Lights-Out (iLO)** はHPE Gen10サーバーに組み込まれています。HPE iLOは、サーバーのステータスを監視するHPE独自のコアインテリジェンスであり、レポート生成、継続的な管理、サービスアラート、ローカルまたはリモート管理機能によって問題の迅速な特定と解決を支援します。

**HPE OneView**は、テンプレートベースのアプローチにより、コンピュート、ストレージ、ネットワークインフラストラクチャの展開、プロビジョニング、アップデート、および統合を可能にします。HPE OneViewのソフトウェアテンプレートを使用すれば、アプリケーション、仮想ホスト、またはコンテナーインフラストラクチャに必要とされるすべての物理リソースを1行のコードで完全に記述して構成できます。

**HPE InfoSight**は、絶えずサーバーインフラストラクチャを分析し、数十万台のサーバーの実例を応用することで、ビジネスオペレーションに悪影響を及ぼす前に問題を予測して回避します。HPE InfoSight for Serversは、HPE InfoSightのクラウドベースの機械学習 (ML) にActive Health SystemとHPE iLOのヘルスおよびパフォーマンス監視機能を組み合わせることで、パフォーマンスを最適化するとともに問題を予測して回避し、インフラストラクチャを最適かつセキュアな状態に保ちます。

# すべてがAS A SERVICEで提供される

HPE GreenLakeにより、エッジ、共同配置施設、データセンター、マルチクラウドなどのあらゆる場所で最新のクラウドエクスペリエンスを実現できます。HPE GreenLakeは、エッジ、共同配置施設、およびデータセンターにおいて、従量制課金モデルで完全に管理される、オンプレミスのワークロード向けのパブリッククラウドサービスとInfrastructure as a service (IaaS) を提供します。

## 従量制課金をサポート

短時間で有益な情報を取得してデータの価値を引き出すとともに、資金面の制約をなくし、運用の柔軟性を向上させることができます。

## スケールアップとスケールダウン

拠点全体でas a serviceで提供される、DXの中核となる必須のデータを作成して分析を行えるようになります。

## ITの簡素化

単一の直感的なセルフサービスプラットフォーム（HPE GreenLake Central）からハイブリッド資産全体の運用と有益な情報を一元管理できます。

## HPEにITの管理を任せる

オンプレミスのクラウドとパブリッククラウドの監視と管理を世界有数のHPE ITオペレーションセンターに任せることで、セキュアな管理を実現できます。

HPE GreenLakeを活用すれば、より迅速にビジネス成果を向上させることができます。たとえば、HPE GreenLakeは、需要に先立って常に容量を使用できる状態にすることでデジタルプロジェクトの展開に必要な時間を75%削減し、市場投入までの時間の短縮をサポートします[11]。また、リソースへのポイントアンドクリックアクセスが可能になるため、ビジネスグループはIT部門の介入を必要とすることなく迅速に対応を進められます。

HPE GreenLakeは、機械学習運用（MLOps）、コンテナー、ストレージ、コンピュート、仮想マシン（VM）、データ保護といった、幅広いクラウドサービスポートフォリオの迅速な展開を可能にするものであり、このようなワークロードに最適化された事前設定済みのソリューションは、お客様の施設に直接届けることができます。HPE GreenLakeには、次のようなメリットがあります。

- オーバープロビジョニングを不要にしてCAPEXを30～40%削減できる。[12]
- ITリソースを40%節約できる。[12]
- 計画外のダウンタイムを85%短縮できる。[13]

[11] 2019年9月に外部のセキュリティ企業が実施した、HPE Gen10サーバーと競合企業大手3社のサーバーを対象としたサイバーセキュリティ侵入テストの結果に基づく。

[12]『HPE GreenLakeの総合的経済効果™』、Forrester Consulting社、2020年6月。

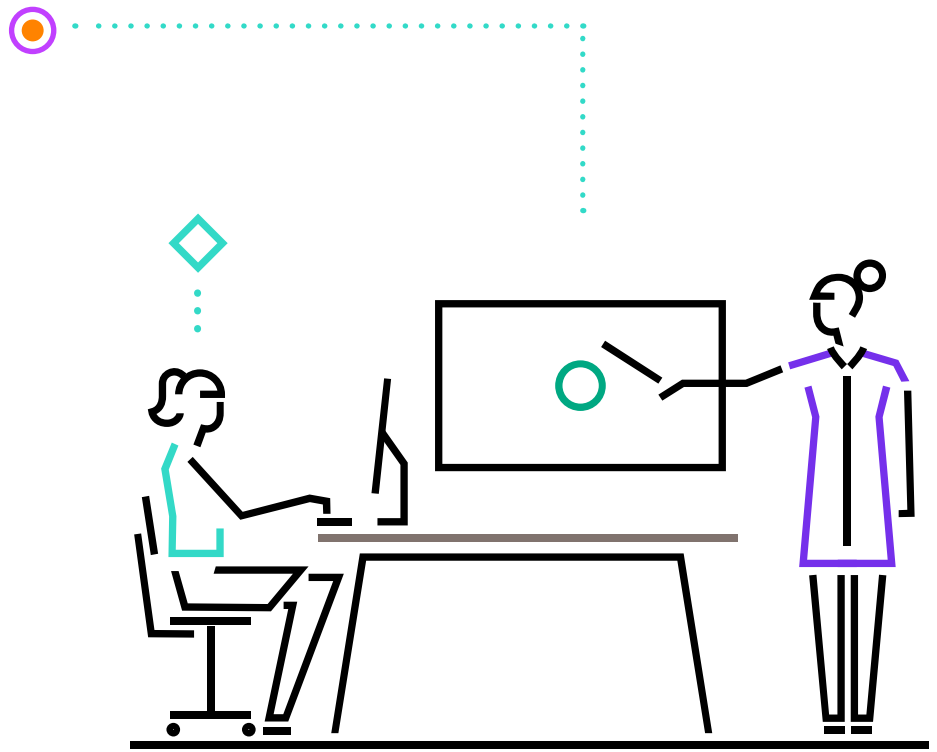
[13]『HPE GreenLake管理サービスのビジネス価値』、IDCテクニカルペーパー、2020年1月。

# DXの最適なパートナー - HPE POINTNEXT SERVICES

HPE製品の専門知識は、変革とITリフレッシュに関するすべての目標のプランニング、実現、およびサポートを支援するHPE Pointnext Servicesによって、さらに高められます。

HPE Pointnext Servicesを活用することにより、お客様の組織は最新化を加速させ、さらに有益な情報を得て制御を強化するとともに、より魅力的で影響力が大きく安全性の高い、新しいデジタルから物理までのエクスペリエンスを定義できます。HPE Pointnext Servicesのクラウドやテクノロジーのエキスパートと連携すれば、次のようなことが可能になります。

- アプリケーションを評価して、組織に固有の目標を達成するのに最適な組み合わせを決定する。
  - 目標を明確にして把握する。
  - 既存の環境のすべてのアプリケーション、データ、およびワークロードを総合的に評価する。
- ワークロードを移行してコストの節約につながる消費モデルを導入する。
  - すべてのワークロードに最適なクラウドの組み合わせを実現する。
  - 全世界の1,000を超えるクラウドトランスフォーメーションプロジェクトで得られた専門知識を活用する。



# 柔軟な財務モデル

HPEファイナンシャルサービスは、幅広い財務ソリューションと資産ライフサイクルソリューションにより、今日のITのニーズへの対応と将来成功を収めるためのビジネスの確立をサポートできます。

お客様は、組織のニーズやDXの目的に応じて、多岐にわたる柔軟な展開および消費モデルの中から最適なものを選択することが可能です。

- HPEファイナンシャルサービスを利用すれば、DXの資金を柔軟に確保できます。
- 運用費用モデルにより、高額な先行設備投資費を削減できます/投入しなくて済むようになります。
- 直接購入か柔軟なモデルを選択できます。

また、ビジネス目標の達成をサポートする、次のような追加のプログラムやサービスを選択することも可能です。

- **お客様のビジネスをサポートするIT資産投資ソリューション** - 現在のDXを加速させるとともに、将来のテクノロジーのニーズに柔軟に対応し続けるのに役立つIT投資およびライフサイクル管理戦略を策定できます。
- **支払救済プログラム** - 8ヶ月間にわたって支払額が減額されるため、今すぐプログラムを開始できます。
- **HPE認定中古機器** - HPEが認定した中古IT機器を購入、リース、またはレンタルすることにより、レガシーシステムの寿命を延ばすことができます。
- **支払延期** - 今必要なものを取得して後から料金を支払うことができます。90日間延期の料金体系により、厳しい予算状況を緩和することが可能です。
- **HPE移行ソリューション** - 老朽化したITインフラストラクチャを廃棄して価値を回収したり、場所を移動したり、移行を管理したりできます。
- **HPEサブスクリプション** - 手頃で予測可能な月額料金の包括的なITソリューションにより、ビジネスの優先事項に注力できます。
- **HPEレンタル** - 特に短期的なニーズに対応するにあたり、最新のテクノロジーに迅速にアクセスしてビジネスの俊敏性を維持できます。
- **HPEテクノロジー・リフレッシュ** - 低コストで持続的かつ積極的に入れ替えサイクルを短縮できます。
- **HPE Adaptable Use Models - Extended Deployment** - 必要になる前にIT機器を取得可能で、展開した場合にのみ料金を支払います（取得から12ヶ月後まで展開可能）。

5

# HPEはビジネスの発展をサポートする信頼できるパートナー

多くの業界アナリストは、今こそ企業がDXに向けた重要な歩みを進めるべき時だという意見で一致しています。HPEには、DXを成功へと導く製品、サービス、およびソリューションがあります。

HPEと連携すれば、エッジからクラウドまでのすべてのハイブリッドクラウド資産をサポートする、ワークロードに最適化された真のas a serviceのエクスペリエンスを実現できます。

HPEなら、今日のデジタルエンタープライズをサポートする新しい革新的なコンピュート機能を提供できます。

- 真のas a serviceのエクスペリエンスを実現する、実績ある包括的な妥当性確認済みのコンピュートソリューション
- HPE GreenLakeが実現する、どこでも活用できるクラウド
- IT投資の購入および運用方法の選択肢
- HPEファイナンシャルサービスの柔軟な財務ソリューション

## 詳細情報

hpe.com/solutions/compute（英語）

hpe.com/greenlake

hpe.com/pointnext

hpe.com/us/en/servers/proliant-servers

hpe.com/us/en/integrated-systems/synergy

お客様のニーズに最適な製品をお選びください。
HPEのプリセールススペシャリストにお問い合わせください。

Chat Email Call

メールニュース配信登録

Hewlett Packard Enterprise

© Copyright 2021 Hewlett Packard Enterprise Development LP. 本書の内容は、将来予告なく変更されることがあります。ヒューレット・パッカード エンタープライズ製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対しては責任を負いかねますのでご了承ください。

SAPは、ドイツおよびその他の国におけるSAP SE（またはSAP関連会社）の商標または登録商標です。すべての第三者の商標は、それぞれの所有者に帰属します。

a50004030JPN、2021年4月